

News Releases

報道関係者各位

『アルバトロス防護構台』専用の落下物防護屋根を開発 第三者災害を出さない安全な現場環境に向けて

2023年8月1日

株式会社 杉孝グループホールディングス（本社：神奈川県横浜市 代表取締役 社長執行役員：杉山 信夫「SUGIKO GHD」）は、先行手すり足場の製品「アルバトロス防護構台」の専用屋根材をアルインコ株式会社（本社：大阪府大阪市 代表取締役社長：小林 宣夫）と共同開発しました。

防護構台とは、建設現場の周囲に設置することで落下物から通行人を守るための屋根付き通路のことです。建設現場では、防護構台を設置する際に、H鋼を用いた重機での鉄骨工法が主流となっていますが、仮設機材を用いた先行手すり工法で組む「アルバトロス防護構台」を使うことで、仮設機材ならではの高い安全性と作業性で工期短縮が可能になるため、21年の夏からSUGIKOよりレンタルを行っていました。ただし、落下防護屋根については従来品※の合板や杉足場板を用いて施工をしていただいていたことから、アルバトロス防護構台専用の落下防護屋根を開発。特徴は、朝顔（防護柵）と同等の強度を有していることや、従来品と比較して施工がより簡易となっています。さらに、透過性があり採光できることから日中は通路の明るさを確保することもできます。

アルバトロス防護構台専用落下防護屋根は、23年の12月頃から首都圏エリアを中心にSUGIKOからレンタルを開始予定です。両社は、新たな仮設機材開発を通じて、建設現場の省力化やコストの軽減はもちろん、第三者災害を出さない安全な現場環境を実現するためのサポートを、これからも続けていきます。

【開発機材】

名称：アルバトロス防護構台専用落下防護屋根

特徴：朝顔と同等の強度がある | 従来品と比較し施工が簡易で安全 | 採光性に優れ通路が明るい
仮設業界唯一の防護構台システム | 2社共同で特許出願中



▲「（仮称）横浜南幸地区共同建替事業」試験施工の様子

※現在試験中のため、レンタルまでに一部仕様が変わる可能性があります。

※従来品の落下物防護屋根：梁材+角パイプ+栈木+杉足場板+構造用合板（t=12mm）+養生シート

お問い合わせ 株式会社 杉孝 広報担当：福家（ふけ）

TEL：045-444-0835 E-MAIL：s-fuke@sugiko.co.jp 携帯：090-9017-8667